

# いんちき NEWS

vol.9  
February 20 2017



●発行:日本ボーイスカウト東京都連盟 日野第2団 ●編集者:中村俊郎 ●住所:東京都日野市程久保4-7-14 ●ホームページ:<http://www.hino2.tokyo/>



## どんな時にもチャレンジ精神を忘れずに

今、「ボーイスカウト」があるのは、イギリス人のベーデン・パウエルがいたからでしょう。彼は、「自ら率先して幸福な人生を切り開き、社会の発展に貢献する人」になるよう教えています。このことは、社会にある様々な出来事に恐れずにそして率先して立ち向かう「先駆者」として働くよう招いています。

そのチャレンジ精神は、無茶や無謀、無鉄砲ではなく、判断と勇気、そして賢明さをもって物事に当たっていくということです。新しいことに挑戦することは、時に失敗することもある

ります。怒られることもあるでしょう。だけど一度失敗したからと言って逃げだすのではなく、ボーイスカウトの仲間や、団長などと相談しつつ、新たなことにチャレンジし続けることが自分への挑戦となるのではないのでしょうか。

平成29年1月  
東京教区 助祭 野口 邦大

※野口さんにはベンチャー隊の宗教章  
取得にあたり、ご指導をいただきました。



## クリスマス会

2016年12月18日にボーイスカウト・ガールスカウトの合同クリスマス会が行われました。朝のセレモニーが終わるとすぐにゲームが始まります。一人一枚ずつ配られたカードをたよりに、ボーイ・ガール合同の縦割り班を作りました。

班で挑戦するのはイエス様のご誕生に関するクイズ。クイズの正解数によってケーキの材料が決まるので、みんな真剣な表情で考えます。カトリックスカウトなら分かって当然な問題かも？



結果発表が終わり、受け取った食材に一喜一憂しながらも、全ての班がこだわりの個性豊かなケーキを作りました。自分で作ったケーキはやっぱり格別。団委員長さんが用意してくれた豚汁と一緒にいただきました。

お腹がいっぱいになったところで、クリスマス会は午後の部へ。幼稚園の講堂で歌を歌い、厳かな気持ちでキャンドルサービスをしました。



最後にはサンタさんがアタフタと持ってきたプレゼントでプレゼント交換。楽しい気持ちで一年最後の活動を終わりました。

(ボーイ隊 甲野慎太郎)



# 活動

## かつどうだより

# 便り

## 新年事始めのお餅つき

平成29年1月8日、新年恒例の餅つき会が開催されました。

今年も横田基地のガールスカウトの皆さんが参加して、お餅つきを体験したり、縄跳びをしたりと、子供たちの楽しそうな歓声が上がりと、たくさんの笑顔がみられました。



つくたてのお餅の種類は、あんこ、きな粉、カラムーチョ、磯辺、大根おろし、ゴマ、納豆と種類も豊富にあり、長い行列ができてとても美味しくいただきました。

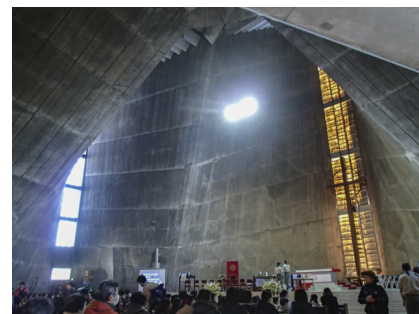


お忙しい中朝早くからご準備いただいた団委員長の方々、お手伝いいただいた保護者の方々に感謝申し上げます。

## JCCS 東京支部 B-P 祭合同ミサ

今年2月11日のB-P祭は東京カテドラル関口教会マリア大聖堂で行われました。いつもの四谷駅に近いカトリック麹町イグナチオ教会ではなかったですね。

カテドラル教会とは何かというと、「カテドラル」は司教様が座る椅子のことを言います。東京カテドラル関口教会マリア大聖堂は東京大司教区の司教様が座る椅子が聖堂にある教会です。よく司教座と言ったりします。豆知識でした。



※中央の赤い椅子が「カテドラル」です。

今年も、ビーバー、カブ、ボーイ、ベンチャーが参加しました。

日野2団のスカウトも共同祈願や奉納でミサのお手伝いが出来ました。よく頑張りました。

今回のテーマは『考えてみよう』-困っている友だちのことを一です。

B-Pはスカウトに、どのような思いや願いをもってスカウト運動を進めたのか、今回は「困っている友だちのこと」そして「ちかいとおきて」について、スカウト一人ひとりが考える機会としたいと思います。



神父様のお話の中で、学校で困っている友だちに寄り添ってくれた友だちがいた話がありましたね。

私たちスカウトは、ボーイはちかいで「いつも他の人々を助けます」カブはやくそくで「おさないものをいただきます」と有ります。皆できているかな。早速学校で、スカウト活動の中で、家庭で「やってみよう!!」この行いは、「天国に沢山の宝物を積む」ことになります。

今回のミサは私たちスカウトに困っている友だちのことを考えて、寄り添うことが出来るようにみんなでお祈りしました。「一日一善：日日の善行」。これは私たちスカウトのスローガンです。そしてスカウト活動で最も大切なことです。

(副団委員長 鈴木英彦)

# スキーキャンプ感想文

## スキーキャンプ 初めてのスキー カブ隊 中村東馬

人生初のスキー。最初はまどうまくいけなくて、特に登る時の動き「カニ歩き」がそれほど上手くなかった。その次に「ブルーク」も上手くなかった。そこで、リーダーとマンツーマンで練習してみたら、だいぶ上手くなってきて「ブルーク」で止まったり、カーブすることも、できるようになった。そのあと、すねと指がすごくいたかった。止まる時にすねがスキーぐつにあたって、指はカーブする時に、力をいれるから。ここまでが一日目。

一日目でだいたいなれたスキーの予習みたいな事をスクールの先生とやった。1日目にやった事以外にも、いろいろなわざを教えてもらった。1日目でなれたのか、2日目はそれほど、いたみは、なかったもので、だいぶ楽にすべれた。最初にすべった時より、たいぶ上達した。上手くすべれるようになってから、スキーが楽しくなった。



## スキー カブ隊 片山優

スキーキャンプに行きました。

まだ一回もやったことがなかったので、最初は全くできませんでした。なので、ストックなしでやりました。ブレーキが上手くできなかつたので、後ろの板を動かすようにしました。それから上手くいくようになりました。板にかかる体重を変えることで、曲がることも分かったので、左右に移動で

きるようになりました。コースを何周もして、気持ち良くすべれたので良かったです。

次の日は、午前中からたくさんすべることが出来ました。急なしゃ面で曲がるのが難しかったです。と中から雪がふってきた時、ゴーグルを使うととても便利だと分かりました。

今回スキーキャンプで、スキーが楽しかったので、家族で行きたいです。



## スキーキャンプ カブ隊 田中瑛心

ぼくは、一月七日～九日までスキーに行きました。場所は、長野県まつ本市のりくら高原です。

一番いんしょうにのこったのは、前の日にほしたタオルがこおっていた事と体重い動い外の方法でまがってすぐできたことです。

つらかったことは、雪がふっているときにすべって顔に雪があたっていたかったです。

あとは、ブレーキ力をもっと高めたいです。



## スキーキャンプ カブ隊 齋藤海斗

ぼくは、1月8日にスキーをしていて雪がふってかおがいたくなりました。

さいしょいったコースより雪が多くなっていました。

やっとのおもいでみんなにたどりついてスキー板をおいて車にのって、そしてりょかんにもどっておふろはおんせんでした。

かえってへやにもどるとさく文書きました。

## スキーキャンプ カブ隊 石田大智

ぼくは、一月七日～一月九日まで長野県の乗鞍高原に行ってスキーをしました。「こだま」という旅館にとまりました。

一日目は、六時三十分頃に高幡不動からバスで出発しました。バスには五時間程乗りました。「こだま」についてからしばらくして、スキーをしました。スキーは久しぶりにやりました。

二日目は、朝から夕方までずっとスキーをしました。二日目は一日目と違い、レベルごとにいくつかの班にわかれてスキーをしました。一番上にある、かもしかコース(中・上級)を十回以上すべることができました。

三日目は、一時間スキーをしました。十三時～十八時までバスにのり高幡不動に着きました。



スキーキャンプ  
カブ隊 千葉修士

スキーキャンプに行きました。宿は乗くら高原温泉旅館こだまにとまりました。

その後乗くら高原のスキー場にスキーをしに行きました。スキー場にはいろんなコースがあり、スキーが上手な人は、むずかしいコースに行ったり、あんまり上手じゃない人は最初から最後までちゃんと練習にはげんでいます。スキーが終わって宿に帰ったら風呂に入って体と頭を洗って、露天風呂に入りました。風呂から上がった後、夕食を食べました。量が多かったので残しました。朝は6時におきて、朝食を食べました。朝食は量が少ないので全部食べられました。2日目も朝からスキーに行くと途中で雪がふってきてすべりにくかったです。2日目も風呂に入って、体と頭を軽く洗って、露天風呂に入って雪がふっていて、お湯がぬるかったです。風呂の中が気持ちよかったですのでゆっくり入れました。

スキーキャンプの思い出  
カブ隊 近藤 淳成

生まれて始めてスキーをしました。一日目は、最初に、かに歩きで山を少し上がりすべりました。次に止まる練習をしました。漢字の八で止まります。その次に下り坂を下りました。その後リフト乗りました。一日目の最後に上から下にくだって一日目のスキーは、これで終わりです。二日目は、朝食を食べたらすぐスキーをしました。昼飯もスキー場で食べました。スキーでどうすりのコースをすべりました初級のコースです。カーブも多い外とききゅうでした。中級コースを走りました。



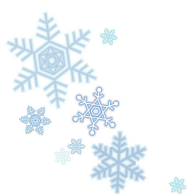
スキーキャンプの感想  
ボーイ隊 宮志竜

ぼくは、今回初めてスキーをやってみました。スキーは最初にワクワクしていたけど初めてやってみると、「うわ、難しい。」

と感じていた。でも山崎リーダーに教えてもらいすごくうまくなった。

2日めにスキーの先生に教えてもらい、すごくやさしく教えてくれたのですごくうまくなった。先生の教え方がすごくよかったからうまくなれた。もし教え方がへただったら今も全然うまくなっていないかもしれない。むしろスキーなんて楽しいと感じてないと思う。でもスキーが楽しくて楽しくてしょうがない。毎日でもスキーがしたい気分。もうスキーキャンプが終わるのかとぞんねんだ。ぼくは今回スキーキャンプを初めてやったことをわすれたくない。むしろわすれられないと思う。今回やったことが楽しすぎて。そして楽しいだけではない。このキャンプはくんれんキャンプだからいつか山で人をたすけることもできる。そのためにもスキーがうまくなっていないと、人をたすけることもできないと思う。だからぼくは楽しくやっていた一面もあるけどくんれんをしていた一面もある。

もう一度、来年また、スキーキャンプをやりたいその時は、もっとじょうたつしていつかはリーダーやせんぱいよりもうまくなりたい。



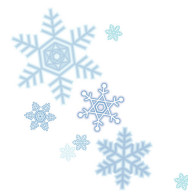
今回のスキーキャンプについて  
ボーイ隊 中島雪人

私は、長野県乗くら高原で2泊3日のスキーキャンプをしました。

私は、スキーを毎年やっているのだから、これに関しては、かなり得意な方でした。

でも、そこは、かなり急なスキー場でした。

エッジをかけて、止まるのが、かなり難しかったし、猛スピードの中で、ターンをするのも厳しかったです。私が今までに行ったスキー場で一番急だったし、標高もすごく高かったので、耳が詰まるやら、足が痛くなるので、もうヘトヘトでした。カモシカコースという上級者のコースをリフトで15本ぐらい乗って、何度も何度も滑って、自分としては、なかなかのセンスで滑れたかなと感じられるようになりました。このように上達したのもリーダーが教えてくれたおかげでもあり、自分のスキルを磨けたことがあったからこそ、ここまでの自分があるんだと思いました。プルクボーゲンやクラウチングなどの技も習得できたので、家族で来た時に俺はこんなにできるようになったよと見せつけてやりたいと思います。私は、今回のスキーキャンプに参加して、来年もこのスキーキャンプで、もっとスキルを磨いて、今度はジャンプをちょっとでもできるようになりたいなと思いました。



## スキーキャンプを終えて ボーイ隊 熊田啓允

二〇一六年の終わりごろ、僕は初めてスキーキャンプに行った。前々回はインフルエンザで、前は中学受験で参加しなかった。だから、正直、今回も家にいたかった。しかし、行くとは一度言ったからには、行かない訳にはいかなかった。

スキー初日、朝早くに起きて集合場所に向かった。その後、バスの中で本を読むか、寝るかのどちらかをする時間が続いた。数時間後、宿に着いて、開営式を済ませると、すぐにスキー場に向かった。最後にスキーをしてから数年も経っていたが、一応する事はできた。スキーを終えて宿に戻ってから、風呂に入って、夕食をとって、夜プロを遣って、GBをやった、寝た。論吉と宮は雪人で遊んでいた。二日目は午前から滑っていたこと以外は、一日目とほとんど変わらなかった。初めて「かもしか」に行った。斜面が急で滑りにくかった。それから、雪が降り始めた。雪のおかげで体力がかなり削られた。夜、一日目と同じように済ごした。夜プロではゲームをやった。就寝時間、雪人がすぐに寝て、論吉と宮は昨日と同じように雪人で遊んでいた。

三日目、キャンプ最後の日で、少しテンションが上がっているような気がした。朝起きてすぐに点検の準備を始めた。(中略)三日目は、午前しか滑らなかった。カモシカは、雪が降ったせいですごく滑りにくかった。一度コケた。(中略)バスの中の暇な時間は寝て過ごし、高幡まで帰ってきた。そして、すぐ解散した。こうして、スキーキャンプは何事もなく終了した。

今回スキーに行き感じたことは、初級の二人が前よりも動いてくれていることだ。

キャンプ自体はそこまで悪くなかった。気が向いたら、来年も行こうと思う。

## スキーキャンプ ボーイ隊 久野和哉

私は2017年1月7日から1月9日まで2泊3日のスキーキャンプへ行きました。

1月7日は晴れておりとても暖かく楽に下へおりて行けました。けれど雪がとけて水となりそれが凍ってしまい雪ではなく氷へとなってしまいました。そのせいですべてで止まることができなかった所がいくつもありました。

1月8日この日は1日中すべりました。特に記憶に残っているのは山頂からのスキーとリーダーたちとの競争がありました。山頂からのスキーは3本下ってきましたが、3本目が1番たのしく1番つらかったことがとても記憶にあります。楽しい理由としては雪が降っていたので降りたての雪をすべることができたことです。つらかった理由としてはゴーグルやネックウォーマー、フードなどに雪が入ったり視界が見えなくなったりなど良点と欠点がありました。また、リーダーとの競争は30秒差でかなりの道のりでしたあと10秒あれば勝てたと思いますが、あと少しの場所でぬかれてしまいました。この2つの点が特に残っていてとてもいろいろな感情がこみあげてきます。

このスキーキャンプで学んだことが数多くありましたが特にこの2日間にスキーについての重要点があったと思います。学んだことを生かしていきたいです。



## スキーキャンプ感想文 カブ隊副長補 柏倉裕樹

カブ隊、ボーイ隊の子達がスキーを滑れるようになってとても嬉しく感じています。カブ隊、ボーイ隊に一番聞きたいのが、スキーを楽しむことができたかを聞きたいです。

自分がリーダーになって二回目のスキーキャンプでした。まだまだ未熟な自分にガッカリしてしまう時があるのがなぜか悔しく感じます。スカウトに楽しいスキーキャンプを感じてもらえるようになるのは、リーダーである自分がしっかりしなくてはならないと改めて分かりました。安全管理をすること、ルールやマナーなどをしっかりと伝達することです。

今後は自分がスカウト達にキャンプを楽しんでもらうためにはどうしたら良いかを教えてあげられるリーダーになりたいとキャンプを通じて感じました。



